

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名	企業経営史 (Business History)					担当教員	丸山一郎 (マルヤマ イチロウ)		
科目コード	393117-14300								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>1. 江戸時代から現在に至るまでの日本における企業経営の歴史的变化を概観する。特に戦後における日本経済の競争力の背景として機能した企業経営のあり方が、どのような歴史的過程を経て成立し、現在に至るまでにどのような経緯をたどって来たのかを理解する。また、流通イノベーションの回では株式会社コメリの発展過程を詳細に説明する。</p> <p>2. 江戸時代から現在に至るまでの日本企業の変遷と発展の歴史を理解し、熾烈な国際競争をリードし勝ち抜く為の課題も説明できる。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>1. レジメと課題レポートは毎回 Google classroom 内に配布する。</p> <p>2. 学生による課題レポートの提出は Google classroom を使い提出する。</p> <p>3. 本題に入る前にまずは、江戸、明治、大正、昭和の各時代の時代背景を理解する。</p> <p>4. テキストの解説と合わせて毎回配信するレジメを使い、当時の企業の経営戦略、組織の変遷及び政府の産業保護政策や労働環境の改善等の厚生政策も解説する。</p> <p>5. 各企業の黎明期から現在に至る迄の沿革と現状を決算説明会資料などにより分析、解説する。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
産業史									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 江戸、明治、大正、昭和の各時代の時代背景を理解する。</p> <p>(ii) 時代ごとの経営戦略、組織変遷及び政府の産業保護政策や労働環境改善等の厚生政策を理解する。</p> <p>(iii) 各企業の沿革と現状を決算説明会資料などから分析、理解する。</p>									
⑥ テキスト (教科書)									
1. 宮本 又郎、岡部 桂史、平野 恭平、共著(2014)『1からの経営史』中央経済社									
⑦ 参考図書・指定図書									
1. 毎回の授業にてレジメを配布する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%		20%		10%		100%
(i) 江戸、明治、大正、昭和の各時代の時代背景を理解する。	10%							10%
(ii) 時代ごとの経営戦略、組織の変遷及び政府の産業保護政策や労働環境改善等の厚生政策を理解する。	20%	10%		10%				40%
(iii) 各企業の沿革と現状を決算説明会資料などにより分析、理解する。	20%	10%		10%		10%		50%
フィードバックの方法	小レポートについては、評価・考察を行い、フィードバックする。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>1. 企業経営史を学ぶことは日本の歴史、つまり時代ごとの社会背景を理解することである。各授業では単に企業の歴史を学ぶに留まらず、その時代に何があったのか、世界ではどのような出来事があったのかも合わせて解説する。</p> <p>2. テキスト以外の情報も多く用意し、毎回新鮮でワクワクする授業を心掛ける。</p> <p>3. 各時代における実業家の生き立ちや転機、そして先見性、革新性を解説する。 また、従来からの高名実業家に対する評価の真偽を考察し、解説したい。</p> <p>4. 授業に対する積極性(出席回数含め)や小レポートに対する真剣な取組みを大いに評価する。</p> <p>5. 毎回の小レポートと定期小テストのための自習が必要であり、指定した事項に関して図書館やネットで情報を集め、学習する事が求められる。(1時間程度)</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)	
1	イントロダクション 江戸時代の経営	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題の取組み</li> <li>経営史を学ぶとは何かを理解する</li> <li>時代背景を理解した上で企業家の先見性、転機、行動を理解する</li> </ul>	60分
2	明治の企業家	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>明治の財閥企業とベンチャー精神に溢れた新進実業家を理解する</li> </ul>	60分

3	近代産業の成立	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>明治維新後の殖産興業、富国強兵時代の産業界を理解する</li> </ul>	60分
4	財閥の誕生	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>大正時代の第一次世界大戦景気による軽工業、重化学工業、電力工業の発展を理解する</li> <li>財閥による独占資本と戦後不況、ロシア革命にの影響を理解する</li> </ul>	60分
5	重化学工業化と新興財閥 小テスト	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>先行する財閥に後れを取った新興財閥が成功した要因を理解する</li> <li>産学官連携による科学技術の習得と人材育成、企業の幹部登用、新製品開発を理解する</li> <li>小テストに備え予習</li> </ul>	60分
6	技術経営の登場	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>東芝、日本電気(NEC)、三菱電機、日立、Panasonic、そしてSONYの黎明期から今日に至るまでを理解する</li> </ul>	60分
7	日本型人事管理とサラリーマンの登場	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>明治後期から大正期の学歴による組織形態と賃金格差を理解する</li> <li>工場法、労働争議、健康保険、失業対策の理解</li> </ul>	60分
8	都市型ビジネスの成立	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>大都市への人口集中に伴う電鉄の延伸、住宅不動産、購買、娯楽産業の発展を理解する</li> <li>阪急創業者、小林一三のマーケティング戦略を深く理解する</li> </ul>	60分
9	経済民主化と企業改革	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>第二次世界大戦後の経済の民主化を理解する</li> <li>財閥の解体、農地解放、労働組合の活動を理解する</li> </ul>	60分

10	大衆消費社会の到来 小テスト	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>1950年代中頃から始まった高度経済成長に伴う家電メーカーのマーケティング戦略を理解する</li> <li>小テストに備え予習</li> </ul>	60分
11	企業集団とメインバンク	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>高度成長期の「設備投資主導型」成長と旺盛な資金需要による銀行と企業との関係を理解する</li> </ul>	60分
12	日本型生産システムの形成	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>トヨタ生産システムである「かんばん」を理解する</li> <li>豊田自動織機からトヨタ自動車工業への技術移転を理解する</li> </ul>	60分
13	流通イノベーション/コメリの歴史	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>コメリ HP、決算情報などあらゆるコメリ情報にて予習</li> <li>SM、CVS、Dept、等の各業態を理解する</li> </ul>	60分
14	商社の変貌と日本的経営	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習課題、小レポートの取組み</li> <li>三井物産、三菱商事、住友商事をはじめとした総合商社の現在に至るまでの変遷を理解する</li> </ul>	60分
15	まとめ 小テスト	テキスト 小レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト、レジメ全資料の振り返り</li> <li>小テストに備え予習</li> </ul>	60分

⑪ アクティブラーニングについて

1. 小レポートの内容を基に、各回の始めにレポートの評価・考察を行い、学修内容をフィードバックする。
2. 毎回の授業にて優秀レポート数名を発表する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

1. 1977年のコメリホームセンター1号店開店の前年から1100店舗に至る迄の間、店舗用地開発、建設を中心に業務に当たる。他にも店頭販売、店長、商品部バイヤー、販売促進、リフォーム事業部や再生可能エネルギービジネスプロジェクト、他新規事業プロジェクトの立ち上げ等、執行役員として多くの部署で実務を担当。
2. 2013年より長野県松本市、アルピコホールディングス(旧松本電鉄)の中核企業であるスーパーマ

ーケット、株式会社アップルランド(現株式会社デリシア)にて常務取締役開発本部長として店舗開発部署を統括した。

3. 2017年7月からは福井県の東証一部上場ドラッグストア企業、ゲンキー株式会社にて建設部長として店舗建設コスト削減企画他、物流センター及びプロセスセンター建設企画等の実務を中心に担当。他にも用地開発、テナント誘致、メンテナンス業務を担当。

4. 2017年2月韓国大手企業であるCJグループとコンサル業務契約を締結。同社における新規事業開発に関するコンサル業務を韓国ソウル本社にて実施。

#### 実務経験と授業科目との関連性

ホームセンター、スーパーマーケット、ドラッグストア等、多岐に渡るチェーンストア業態での商品部バイヤー、販売担当者、店長、店舗開発、建設、新規PJリーダーの実務経験を基にして、テキスト、決算資料、最新企業情報などを使い、現場経験を交えて具体的に企業経営史を解説する。